



水上勉展

生誕百年

前期

令和元年

5月22^水日~10月14^月日

若州一滴文庫



生誕百年 水上勉

大正8年(1919年)、水上勉は大飯郡本郷村岡田(現在の福井県大飯郡おおい町岡田)に生まれました。聡明な子供でしたが、家は貧しく、9歳のころ京都の禅寺へ小僧に出されます。そしてのちに、小僧であったころの経験をもとに書いた『雁の寺』が第45回直木賞を受賞するなど、戦後の昭和を代表する作家として活躍しました。

本年は水上勉が生まれて百年を経た節目の年にあたります。今回の展示は、その生誕百年を記念して、貴重な資料とともに、作家水上勉の軌跡をたどります。



水上勉著作集(前半)
*一滴文庫図書室

本館
一階展示室



『失われゆくものの記』
生原稿



平成29年度企画
竹紙と遊ぶ二人展

本館
中二階展示室



平成28年度企画
小説『海の牙』を読む

若州一滴文庫

〒919-2116 福井県大飯郡おおい町岡田33
特定非営利活動法人一滴の里

TEL : 0770-77-2445

FAX : 0770-77-2366

HP : <http://www.itteki.jp/>

休館日 : 火曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)

